

授業科目名	NGO・NPO論	単位数	2単位
担当教員名	高橋泉	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係 DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる (実践力) DP5. 共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる (継続力)			
授業のテーマ及び到達目標 (1) ボランティアの本質を理解し、ボランティア活動の支援組織としてのNGO・NPOについて理解する。 (2) NGO・NPOと行政との関係性について学び、課題や問題点を考察する。 (3) 実際のNGO・NPOの活動事例から、現代の社会的課題に対してNGO・NPOが果たす役割と意義について考察する。			
授業の概要 NGO・NPOはどのような社会的役割を担う組織であるかという点について、活動事例を中心にその実態を学ぶ。また行政の政策との関係性、NGO・NPOの活動の位置づけについて、ボランティアの本質を踏まえた上で考察する。NGOやNPOの運営主体のうち、宗教団体について教科書の事例を基に理解を深め、NGO・NPOにおいて宗教が果たす役割について考察する。			
授業計画 第1回：イントロダクション：NGO・NPOの基本的事項（第1章） 第2回：ボランティアの本質（第1章） 第3回：NPO法成立の経緯と市民活動（第2章） 第4回：日本のNGOの活動史（第2章） 第5回：国際協力におけるNGOの活動実態（第2章） 第6回：NGOと被支援国（事例検討）（第3章） 第7回：ボランティアの原理と日本社会におけるNGO・NPOの課題（第3章） 第8回：行政・企業とNPO/NGO（第4章） 第9回：NGO・NPOの社会的地位―諸外国との比較（第4章、第6章、第7章） 第10回：NGO・NPOの財政的基盤とその問題点（第4章） 第11回：NGO・NPOと宗教団体（第5章） 第12回：関連法の規定と宗教の関係性（第5章） 第13回：宗教系NGO・NPOの特徴と強み（第5章） 第14回：資金調達面における宗教ネットワークの意義（第5章） 第15回：まとめ 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト 平田哲（2005）『NPO・NGOとは何か』中央経済社 ISBN4-502-37850-X			
参考書・参考資料等 参考文献 柴田謙治・原田正樹・名賀亨編（2010）『ボランティア論―「広がり」から「深まり」へ―』株式会社みらい ISBN978-4-86015-206-2 参考URL 内閣府「内閣府NPOホームページ」 <a href="https://www.npo-homepage.go.jp/">https://www.npo-homepage.go.jp/</a> 外務省「ODA（政府開発援助） 国際協力とNGO」 <a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda_ngo.html">https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda_ngo.html</a>			
学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			